

県P連だより

広島県PTA連合会

陽だまり

No.54

平成29年度全小・中学校PTA母親代表研修会

あゝよかったなあなたがいて

支え合う仲間を育てる

講師 教育サポーター 仲島正教



小学校教師
を21年間務
め、教育委員
会を経た後、
現在教育サ
ポーターとし
て数多くのセ
ミナーや講演
会活動をされ
ている仲島正
教さんを講師

として迎え、12月2日(土) 平成29年度母親
代表研修会をホテル広島ガーデンパレスにて
開催しました。

講演の最初に「拍手を1回!」と声掛けさ
れ、みんなで拍手を1回。「拍手を3回!」と
言われたらみんなで3回。突然の声掛けに最
初はバラバラだった拍手も、みんなで揃うと
すっかり和やかな雰囲気になり、すぐに講演
内容に引き込まれました。

関西弁での講話は終始面白く、笑いあり、涙
ありの90分で、あっという間の講演でした。
講演で一番心に残った内容は「10秒の愛」
です。

子どもって、忙しい時に限って、寄って
きます。

子どもって、なかなかさっさとできま
せん。

子どもって、なかなかはっきりと言え
ません。

でも、たった10秒でいいのです。まず子
どもを抱きしめてあげてください。

たった10秒でいいのです。「早く!」って
言う前に待ってあげてください。

たった10秒でいいのです。せかさず、
じつと聞いてあげてください。

すると、そこに「笑顔」が生まれます。そ
こにつながりが生まれます。

たかが10秒、されど10秒「10秒の愛」は
子どもを幸せにするのです。

【10秒の愛 仲島正教】

自分がイライラしていると10秒待つのが難
しく、つい「まだ?」と言ったり、夕食の支度
をしているときに子どもが話しかけてきて
「あとで!」と言ってしまったり...

こんな時に仲島先生の「10秒の愛」を思い



出して、「今手
が離せないけ
ど後で聞か
らね」と伝えて
ギョツとして
あげる。たった
10秒の行動で、
子どもは安心
してくれま

親の心に余裕がないと、この10秒がな
かなか出来ませんが、子どもは親がちゃ
んと自分のことを見てくれている、愛さ
れていると安心感を得られます。

10秒でいいから子どもに向き合ってあ
げる。怒った時の感情のピークは6秒と
言われますが、10秒待てば冷静に対応し
てあげられます。

子どもを叱った後に、あんなに言わな
ければよかったと反省することがよくあ
りますが、この10秒待つを実践すれば、反
省する機会も減るのかなと思いました。

もう一つは、演題にもありますが、「あ
なたがいてよかった」と言ってみる。これ
もなかなか気恥ずかしくて言えないかも
しれないですが、自分が言われたら嬉し
いと思います。

自分が言われて嬉しいということは、
子どもや旦那さんも嬉しいのではないで
しょうか。

中学生くらいになると、ギョツと抱きし
めることに躊躇しますが、「あなたがいて
よかった」は言ってあげられます。普段か
ら口にするのが大事だと思いました。

(広島県P連会計 山田洋子)

全小・中学校PTA母親代表研修会 分科会報告

講演会後の分科会では、小・中学校別に10分科会に分かれてもらいました。さらに、各分科会の中で、6～8人の小グループになり講演の感想等について、みんなで意見や情報交換を行いました。

それぞれのグループでは、講演の内容から、自分の思いや意見が聞かれ、日々の子育ての悩みなど、活発な意見交換がされていました。時間は限られていましたが、講師の先生が同席されたグループもあり、こんな時はどうしたら良いのか…と、しつかり意見を聞かれており、あつという間に1時間が過ぎていきました。

アンケートでも、講演会・分科会ともに沢山のご意見・ご感想を書いて頂きましたので、ここでご紹介をさせていただきます。

講演会・分科会アンケート紹介

◎あゝ仲島先生の話が聞けて良かった！
育てるのは私、育てられるのも私。もつともつと子どものため、人のために自分の心の貯金を使いたい。出せば出すほど貯金が貯まっていきそうで面白そう。

◎我が子に対しての声掛けの仕方、接し方を改めてお聞きしドキッとさせられることもありました。あの時の接し方はまづかったなあ〜と反省し、これからの接し方に気を付けていきたいと思えます。

◎子どもたちを怒るばかりでなく、抱きしめてやり褒めてやるのが大事だなと思いました。

◎講演を聞いて、子どもの話をほとんど聞いてない自分や、何でも怒ってしまつて子どもが未来に向いていくような声掛けが出来ていなかったことに改めて気づきました。これから全ては変えられない



かもしれないけど、少しでも前向きに出来るような声掛けをしていきたいです。

◎日頃から子どもたちには毎日、早く早くと言つてしまつていくけど、「大好きよ、大事なんよ」とギュッと抱きしめてやるのが日課なので、これからも抱きしめてあげることは続けていきたいが、10秒待つことも覚えておこうと思いました。

◎子どもを信じることは大切ですが、間違いを見つけたら認め、叱り、そしてそれでも愛していることを伝えることでしか、子どもの心は救えないと気づかされました。これまで以上に子どもに声掛けをしていきたいと思えます。

◎最初の研修会のイメージは固く重く、苦に思つていましたが、子どもを持つ同じ親、他校の人とたくさん話が出来る良かったです。

◎分科会では悩みの交換ができるようです。色々な家庭



三行詩被表彰者のみなさん

があつて、良いも悪いも考えさせられました。親の思いも色々です。この色々な考えと学校とが同じ方向に向いて子どもを育てていければよいと思いました。「今」ではなく「将来」を見ていきたいものです。

◎子育ての悩みを聞いてもらえて心が軽くなりました。子どもたちに愛を送りたいと思えます。

その他、多くのご意見・ご感想を頂きありがとうございます。「あゝよかったな、あなたがいて。あゝよかったな、あなた」といって「この言葉は、人を「幸せ」にするようです。今回の講演がこれからの子育ての中でしっかりと役立てるよう、また、自分もこう言ってもらえる親でいられるよう努力していきたいと思えます。

(広島県P連理事 大岩 由美子)

平成30年度 大会・研修会紹介

全小・中学校PTA会長研修会

日時 6月6日(水)

13:00～16:50

場所 広島ガーデンパレス

内容 記念講演及び分科会

講師 黒川 伊保子 氏

「幸せ脳のつくりかた」

～人の心を動かす魔法のことば～

日本PTA全国研究大会

新潟大会

月日 8月24日(金) 分科会

8月25日(土) 全体会

広島県PTA研究大会

庄原大会

日時 9月30日(日)

9:40～15:45

場所 庄原市民会館

内容 実践発表及び記念講演

講師 親野 智可等 氏

中国ブロック研究大会

山口県岩国大会

月日 11月10日(土)

場所 シンフォニア岩国

全小・中学校PTA母親代表研修会

月日 12月1日(土)

場所 広島ガーデンパレス

家庭教育実践事例

「友達の家に行くときに行っていること」

長男が3歳になる年に引越したのが島根県浜田市でした。たまたま同じマンションに同じ年の男の子がいて、お母さん同士がすぐに仲良くなりました。

初めの頃は、「子育て広場」という子育てサークルに出かけていました。

そこにはいろんな方がおられて、トラブルが付きものでした。ストレスを感じながらも子どもたちのためにと思い、子育て広場を利用していました。

悪いことばかりでもなく、お友達の輪が広がり、初めて外の世界を知るきっかけになりました。

幼稚園に通いだすと友達に変化が表れ、子ども自身の友達ができるようになりました。

子どもというのは当然ながら遠慮はしません。

「かあさん、今日○○君と遊ぶ約束をした」と言って教室から出てきます。慌てて「どのお母さん？本当に行っていないのか聞いてみないとわからないでしょ」と園庭を探し、○○君のお母さんをキャッチしないといけません。

「ごめんね、今日は予防接種なの」と不成立がよくあるパターンです。

そこで一工夫。次の約束を交わすのです。「明日はどう？うちでもいいのだけど、一緒に遊ばない？」親が間を取り持たないと、なかなか成立は難しかったころでした。

小学生になると一変します。遊びに行くにしても、まずは宿題を済ませてからというルールを設けました。

一人で遊びに行くようになったので、ど

こに、誰と一緒にいかも言わせていました。低学年の頃は、遊びに行くときのルールを親が決めていましたが、学年が上がるにつれ自分で考えて行動する機会が増えていきました。

ゲーム機の持ち出し・貸し借り、買い食い、校区外など、当然我が家ではNGですが、子どもの世界では、ジャッジが違います。OKな子どももいます。自分はどうするか、その都度、子どもは選択していかなくてはなりません。

改めて考えると、子ども自身で苦渋の選択を重ねてきたのだなと感じます。

そんな息子も今では高校生です。友達の家に遊びに行くことはほとんどありません。

小さい頃のお友達の家に行くルールが、今では公共でのマナーとして身についたように思います。

我が家の「友達の家に行くときに行っていること」は、ルールを決めることでした。子どもの成長に合わせて変化をしましたが、「相手の迷惑にならないように」と「誰とどこで遊ぶか」を知っておくことは、今でも変わらない我が家のルールになっています。

(広島県P連 副会長 今山 麻紀)



楽しむ読書 役立つ読書

「積読」(つんどく)のススメ

前号で「新しい本との出会い方」を紹介したところ、読者の方から、「新しい本に出会っても、時間がなくて読むことができない」との声がありました。

「現代人の読書実態調査」によると成人の読書をしない理由は「仕事・家事・勉強が忙しくて本を読む時間がない」が最多で約4割を占めています。

そこで、忙しい日常の中でも、何とか読書を習慣化するための工夫として、「積読」をオススメしたいと思います。

皆さんは「積読」という言葉をお聞きになったことがあるかと思えます。「積読」とは本を読まずに積



み重ねておくことを指す造語で、「積み重ねるだけで読んでいない」といった、あまりよくない意味で使われることが多いものです。

しかし、本がいつも必ず見えるところ、目に付くところにあることで、「少し時間ができたらこの本を読もう」という読書への意識づけ・動機づけをすることができます。

また、「積読」は自分の興味・関心を保存し、将来呼び起こすことができる効果

があると言われています。

「積読」してある本を見るたびに、「そういえばあの時の私は、この本が読んでみたかったんだっけ」と、自らの知的好奇心を思い出すことができるでしょう。

ある人は、図書館で借りてきた本をリビングに山積みするそうです。時間がなくて、読まずにそのまま返却する本もあるそうですが、時には積んである本が家族の対話のきっかけになることもあるそうです。

多忙な時にこそ、少しでも本を手に取り、心に読書と思索の時間を作りたいものです。

まずは「積読」で、本を身近に感じる環境づくりから始めてみませんか。(広島県教育委員会生涯学習課 右下湧太)





優良PTA文部科学大臣表彰

日時 平成二十九年十一月十七日
場所 ホテルニューオータニ（東京）

日本PTA年次表彰式



郡市P連名	被表彰団体名
福山市	福山市立旭丘小学校PTA
東広島市	東広島市立郷田小学校PTA

公益社団法人日本PTA

全国協議会 会長表彰

部門	郡市P連名	被表彰個人・団体名
団体	世羅郡	世羅郡PTA連合会
	福山市	福山市立駅家中学校PTA
個人	世羅郡	山田 睦 浩
	三原市	原 邦 高
	呉市	岡 田 快 之
	東広島市	大 場 由 美 子
広報紙コンクール	尾道市	尾道市立高西中学校PTA

広島県P連 委員会活動紹介

総務委員会

主な活動内容としては、
・会則の見直し
・次年度事業計画の作成
・広島県教育委員会との連携などがあります。

本年度からは、広島県読書推進運動協議会の表彰に係る取組を行いました。
今後は、平成31年度が広島県PTA連合会創立70周年にあたることから、記念表彰や記念誌作製に取りかかります。

教育研修委員会（母親委員会も含む）

会長研修会や母親代表研修会の講師の選定や運営などが主な活動ですが、昨年よりアウトメディアチャレンジをはじめ、SNSについても学習し、啓発活動も行っています。

他の郡市の役員の話を聞くのも楽しく、いつも活発な意見交換ができる委員会です。

広報委員会

主に県内外で行われる大会等の報告をはじめ、各種研修会や行事の内容を記事や写真にまとめ掲載している情報紙「陽だまり」を年3回発行しています。

最近では、県教委生涯学習課からの情報提供による「楽しむ読書役立つ読書」を連載しています。今後も情報紙のみならず、幅広い広報活動をめざしています。
PTA会員の皆様のお役に立てる内容を、委員一丸となって日々考えてまいります。

充実の補償で お子様を サポートします

●誤って他人のものを
壊したり、他人にケガを
させてしまったら…
（加害事故の補償）

インターンシップ（職場体験）
等に起因する法律上の賠償責任
も対象になります。

●授業中やクラブ活動など、校内外を問わず発生
する急激かつ偶然な外来
の事故によるケガや病気*
の補償

*病気入院補償は
Hプラン・Wプラン
のみ対象です。



団体割引適用で 割安な保険料！

団体割引30%
損害率による割引30%適用
スクールメディカルデスク24でお子様
の健康相談を24時間受付

●学校管理下中の学用品・
身の回り品などの補償
●育英費用 等

充実の補償でお子様をサポートします。 広島県PTA連合会 小・中学生総合保障制度



小・中学生総合保障制度はこども総合保険のベネネームです。
この広告は「広島県PTA連合会小・中学生総合保障制度」の概要について紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読み下さい。
詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がございましたら取扱代理店・引受保険会社までお問合せください。
この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独個別に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。
平成29年6月作成 募文No17-T02416



引受幹事保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

お問合せ先・取扱代理店：(株)東海日動パートナーズ中国四国 TEL：0120-018-217
保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 広島中央支社 TEL：082-511-9194

パンフレット・重要事項説明書は左記
「お問合せ先」にご請求下さい。

共同引受保険会社

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP